

輪

症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■消化器カンファレンス 隔月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加下さい。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

*事前の申し込みは必要ありません。(医療連携室 TEL：093-533-8660〈直通〉)

地域医療従事者研修会のご案内

日程	テーマ	講師
9月26日(木)	「東京オリンピックに向けての感染症対策」	総合診療科主任部長 内田 勇二郎 感染管理認定看護師 田中 裕之
10月24日(木)	「胃がんの外科治療について」 「早期胃がんに対する内視鏡治療について」	外科部長 赤川 進 消化器内科部長 麻生 暁
11月28日(木)	「診療内科で行っている心理療法」 ・精神分析的な心理療法について ・マインドフルネスって何?	臨床心理士 兵頭 憲二 心療内科部長 権藤 元治

▶場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂
▶時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度)

*事前の申し込みは必要ありません。
【問い合わせ先】医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

市民公開講座のご案内

テーマ 腰痛治療の今とこれからについて考える
診療科 整形外科
場 所 北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール
日 時 9月28日(土)
受付開始：13時30分～
講 演：14時～16時
参加費 無料(事前申込不要)
【問い合わせ先】
事務局 管理課
TEL.093-541-1831(内線3107)

*事前の申し込みは必要ありません。

輪



北九州市立医療センターニュース「輪」
第74号 2019年8月30日発行

<基本理念>

わたしたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 覚

© 2019 北九州市立医療センター /
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為は
ご遠慮ください。

編集後記 独立法人化後の最初の医療連携の会が7月16日開催され、多くの方々にご参加いただきました。小倉医師会宇野卓也会長のごあいさつの中で当院の実力をもっと知って活用したいとお話がありました。各診療科の診療内容はもとより、それぞれの職種、部署における当院の実力をより情報発信していかなければならないと銘肝いたしました。また職員有志にてわっしょい百万夏まつりで踊ったようです。暑くて今まで見物に行ったことさえありませんが実力を見せるため来年は踊りましょうか。(尼田)

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号 北九州市立医療センター
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
http://www.kitakyu-cho.jp/center/

広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 小園真吾 大津博恵 杉本優子 森崎恵美子
高見将彦 小野達也 木村祥子 佐藤美登里 天野健司 高木良輔



HP：QRコード



FB：QRコード



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

CONTENTS

- 01 院長あいさつ／地方独立行政法人化後の医療連携
- 02 医療連携の会／当院の医療連携の現状について
- 03 『連携ネット北九州』をご活用ください!
- 04 認定看護師主催研修のご案内
- 05 院内紹介／内分泌代謝・糖尿病内科発足について
- 06 2019年4月「がん薬剤師外来」を開設しました
- 07 トピックス／2019年度 活動報告
- 08 看護の広場／2階外来
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION

- ・症例検討会のご案内
- ・地域医療従事者研修会のご案内
- ・市民公開講座のご案内



〔表紙写真について〕
北九州市の夏の風物詩「わっしょい百万夏まつり」に参加しました! 総勢80名が参加し、暑さを吹き飛ばすような元気で地域から愛される医療センターを目指して努力していきます!

院長あいさつ



北九州市立医療センター
院長 中野 徹

地方独立行政法人化後の医療連携

当院は2019年4月1日に地方独立行政法人化し、7月16日(火)令和に年号が変わって初めての医療連携の会を行いました。500人を超すご参加いただきました、お礼申し上げます。

地方独立行政法人化が医療連携にもたらす最大のメリットは、必要かつ適正な職員の採用による連携室の強化、充実による患者さんのスムーズな受け入れと逆紹介の推進にあります。具体的には総合診療支援センター(TMSC)の設置が可能となりました。患者さん並びに地域医療機関に対し、入院診療計画、退院計画(継続看護等を含む)に基づくシームレスなケアサービスを提供するため、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、歯科衛生士、薬剤師、リハビリ、栄養管理士、事務員が一丸となって、関連するさまざまな相談業務にあたります。従来の入退院センター、医療連携室、医療相談室の機能を統合しさらに充実した連携が構築されると思います。

当院の連携ネット北九州も施行開始後5年を経過し、ご使用いただいております連携医療機関も120施設を超えました。患者さんの検査予約、検査結果、処方内容、画像、サマリーなどの診療情報を提供していますが、厚労省の指針に従いセキュリティに充分注意を払い安全に運用しております。ご要望の多い患者さん外来受診予約も耳鼻咽喉科から開始しました、今後各科に広げてまいります。将来的には福岡県医師会のとびうめネットや他の基幹病院ネットとのネット上の連携で患者さん情報の共有が図られると思います。

急性期病床過剰かつ回復期病床不足の当地区での地域医療構想の中で、地域医療支援病院でもある当院は急性期型病院であり包括ケア病棟を持っていません。地方独立行政法人化後の後方連携にはさらなる推進が求められています。具体的には後方支援施設充実を目的に認定看護師等派遣し施設の教育支援を積極的に行ってまいります。地域連携クリティカルパス活用推進のために、地域の医療機関の先生方に再度ご理解いただけるように説明会を積極的行ってまいります。

法人化後に医療連携の改革が進む医療センターにご期待ください。

医療連携の会

Medical collaboration

当院の医療連携の現状について



医療連携室 室長
岩下 俊光

当院は2019年4月から、経営母体が北九州市から地方独立行政法人北九州市立病院機構になり、いわゆる独法化をしました。独法化により、市立病院では制約のあった人事採用が自由になり、有能な人材確保ができるものと期待しております。

年号も5月^よから改まりました。令和は万葉集の梅花の歌32首の序文にある初春の令月にして気淑く風^よ和^{やわら}きから引用されたとのことです。令はよい、美しい、よくするという意味もあり、和にはなごやか、おだやか、やわらぐ、なごむ、仲よくするなどの意味があります。当院にとっては二重に新しい時代を迎えたことになり、皆さまと当院との関係も今まで以上に親密で仲のよい(令和)時代になればと願っています。

当院の医療連携の現状について報告いたします。当院は2011年に地域医療支援病院に認定され、2016年から全診療科紹介制導入、2017年から全診療科時間予約制を導入しました。2018年度の紹介率87.2%、逆紹介率86.8%で逆紹介率が増加しています。紹介患者数は、12,514人で増加しています。紹介患者の返事の未報告が1.1%と前年の3.6%より減少しました。当院への登録医は628名、開放病床利用は6件でした。画像の共同利用は1,436件で増減はありません。救急車の受け入れは1,420件で、ここ3年は1,400件台です。

今年の6月10日からかかりつけ患者以外に、平日日勤時間帯の新患救急患者の受け入れを開始しました。より地域医療に貢献できるのではないかと考えています。

連携ネット北九州の導入件数は2018年度末で99施設でしたが、現在121施設と増加しています。連携ネット北九州を導入し、患者さんの同意が得られれば、当院での診療案内、検査、画像を居ながらにしてインターネットで見ることができ、連携していただいている先生方に好評をえています。インターネットができる環境があれば費用は掛かりませんので、ぜひ導入をご検討いただければと存じます。

今後とも当院との連携にご理解、ご支援いただきますようによりしくお願い申し上げます。



医療連携の会 研修会の様子



小倉医師会 宇野卓也会長のごあいさつ



中西理事長のあいさつ



懇親会の様子



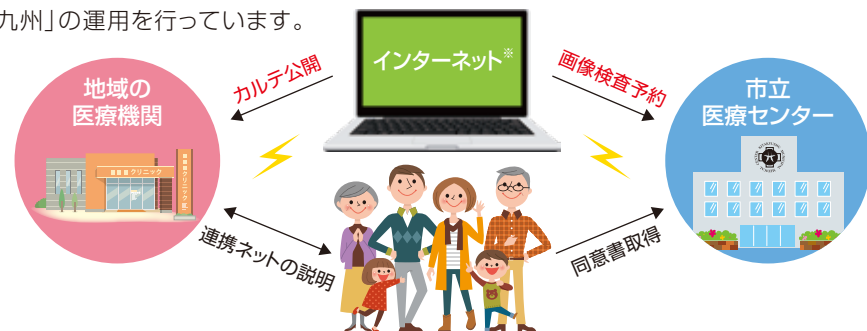
懇親会会場の様子

『連携ネット北九州』をご活用ください！

1 「連携ネット北九州」の目的

北九州市立医療センターでは、厚生労働省が推進している地域医療構想に即して、急性期医療が必要な患者さんの治療を行い、症状が安定すると地域の医療機関とともにその後のフォローを行っています。その中で、重要なことの1つが「情報の共有」です。

そこで、当院では、地域の医療機関の先生方と情報を共有しながら、患者さんの診療を行えるシステムとして、『連携ネット北九州』の運用を行っています。



※IPSec-VPNという安全な接続でご利用いただけます。(厚生労働省安全管理ガイドラインに準拠)

2 「連携ネット北九州」でできること

連携ネット北九州では、以下の2つの機能を利用できます。

- ①カルテ閲覧機能
退院時サマリ、看護サマリ、検査・画像およびレポート、処方箋(服薬・注射)、血液・生化学検査、病理診断・細胞診断
- ②検査予約機能
CT検査、MRI検査、RI検査、X線撮影検査、骨密度検査、マンモグラフィ、腹部エコー、体表エコー、頸部血管エコー

上記の2つの機能に加えて、2019年7月17日から以下の機能を追加します。

●診療予約機能(当院の耳鼻咽喉科への予約のみ)

これまで土曜日等、当院の営業時間外には、予約の受付ができませんでしたが、『連携ネット北九州』から予約を取ることができるようになります。



予約取得画面



カルテ画面



画像参照画面

3 「連携ネット北九州」の導入状況

これまで、121の医療機関の先生方に利用していただいております(2019年7月1日現在)。地域の医療機関の先生方に『連携ネット北九州』の趣旨をご理解いただき、さらに利用いただける医療機関数を増やしていく予定です。

4 「連携ネット北九州」の利用に必要なもの

パソコン仕様要件
ご使用になる端末のバージョンをご確認ください

使用可能端末	OS	ブラウザ
Windows	Windows7 以上	Internet Explorer11 以上
Mac	v10.7 以上	Safari6 以上
iPad	iOS10 以上	

問い合わせ先：北九州市立医療センター 医療連携室 TEL.093-541-1831 FAX.093-533-8718

認定看護師主催研修のご案内

昨年に引き続き、がん看護や周術期に関わる認定看護師による研修会を開催します。第1部は、「明日から役立つがん看護」をテーマに全8回を昨年よりさらにパワーアップし企画しました。アドバンスケアプランニングは、将来、意思決定できない状態に備えて、当事者や家族とケア全体の目標や具体的な治療や療養について話し合うプロセスです。がん看護におけるアドバンスケアプランニングでは、患者さんやご家族が将来の死を見据えながらも、その人らしく生きることを目指す対話を意味しますが、がんの終末期にのみに行われるものではありません。研修会では、がん性疼痛看護認定看護師や緩和ケア認定看護師による早期からの緩和ケアの実際や意思決定支援、がん化学療法看護認定看護師による抗がん薬の副作用の対応・アピランスケアの実演、放射線看護認定看護師による放射線治療を受ける患者さんの有害事象のサポートやトピックスをお伝えします。

また、乳がん看護認定看護師は、臨床で経験し困惑することの多いリンパ浮腫の患者へのケア方法など、わかりやすく説明させていただきます。第2部では、周術期に関連する認定看護師が術前・術中・術後および在宅ケアに関わる皆さまを対象に、現場で役立つ内容を企画しています。「昔は常識だったこと、今は…」など目からウロコの話題もあるかもしれません。さまざまな患者さんのニーズに応え、より良い看護の提供に繋がる情報を簡潔明瞭にお伝えいたします。

がん治療や手術を受ける患者さんに必要な看護の基本的な内容から最新情報を一緒に学習しませんか?皆さんの明日からの看護にお役立ていただけるよう企画しています。今、目の前にいる患者さんがその人らしく生活できるように、私たち看護職ができることを一緒に考えましょう。たくさんの皆さまの参加をお待ちしています。

■研修会スケジュール 第1部

Part 1	日程/場所	テーマ(予定)	内容/講師
	8月30日(金) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	明日から役立つがん看護⑦ 「家族看護」	講師：緩和ケアチーム所属 緩和ケア認定看護師/遠藤 千愛
	9月2日(月) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	明日から役立つがん看護⑧ 「悲嘆・喪失」	講師：緩和ケア病棟 緩和ケア認定看護師/栗田 睦美 師長

■研修会スケジュール 第2部

Part 2	日程/場所	テーマ(予定)	内容/講師
	11月8日(金) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	周術期看護① ・「産科・小児科領域にも役立つ 新生児看護の今」 ・「在宅療養に繋げるストーマ セルフケア指導」 ・コンサルテーションの実際	内容：小児領域の在宅支援など 講師：新生児集中ケア認定看護師/村上 千里 内容：入院中のセルフケア指導のポイントと退院支援について 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師/川上 佳奈 講師：感染管理/田中 裕之
	11月22日(金) 17時30分～約1時間/ 別館6階 講堂	周術期看護② ・「絶食から飲水・食事開始時の 介助のポイント」 ・「安全な早期離床」 ・コンサルテーションの実際	内容：絶食から再開時の危険な状態と安全な嚥下について 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師/鶴川 真弓 内容：離床を安全に行うためのアセスメント 講師：集中ケア認定看護師/増居 洋介 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師/辰島 美和 師長
	2月14日(金) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	周術期看護③ ・「(仮)予防抗菌薬アレルギーの 代替薬について」 ・「安全な吸引」	内容：多職種と連携した代替薬リスト作成の取り組み 講師：手術看護認定看護師/佐古 直美 内容：吸引について 講師：集中ケア認定看護師/増居 洋介
	2月28日(金) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	周術期看護④ ・「急性期せん妄を知る」 ・「認知症の人を知る」	内容：急性期のせん妄について 講師：集中ケア認定看護師/野中 麻沙美 内容：認知症の人との関わり方とケア方法 講師：認知症看護認定看護師/守田 弥生
	3月2日(月) 17時30分～約1時間 別館6階 講堂	活動報告と最新トピックス	講師：皮膚・排泄ケア認定看護師/田上 陽子 講師：がん性疼痛認定看護師/佐々木 雅子

●申し込み：不要です ●興味のある内容だけの参加も可能です ●参加費：無料
問い合わせ先：北九州市立医療センター TEL.093-541-1831 看護管理室/上田副看護部長(認定看護師担当)



内分泌代謝・糖尿病内科 主任部長
足立 雅広

内分泌代謝・糖尿病内科発足について

2019年4月から、科の名称が、「内分泌代謝・糖尿病内科」となりました。当院糖尿病内科は、日本の中でも糖尿病センター設立の先駆けとなった経緯があり歴史のある診療科です。諸先輩の先生の努力により、糖尿病の診療において長年にわたり地域の中心的存在となっております。2018年に足立が赴任し、今までの糖尿病診療の伝統を引き継ぎつつ、内分泌疾患の診療も開始しております。

今年度より、当科はスタッフ3名、レジデント1名で、外来、病棟の診療を行っております。日本糖尿病学会認定教育施設に加え、今年後から、日本内分泌学会認定教育施設、日本老年医学会認定施設となりました。糖尿病、内分泌代謝疾患、高齢者の代謝疾患において、質の高い診療が維持できることを目標としております。

内分泌は、間脳下垂体、副腎、甲状腺、副甲状腺、性腺（LOH症候群など）、骨代謝疾患を対象としており幅広い分野で外来、入院にて診療を行っております。最近では、副腎腫瘍、原発性アルドステロン症、サブクリニカルクッシング症候群、バセドウ病、甲状腺腫瘍、副甲状腺機能亢進症の紹介が増えています。原発性アルドステロン症は、高血圧の3～10％存在し、一般の高血圧と比較し、脳血管障害、心房細動、腎障害を来す頻度が極めて高く、早期診断、早期治療が必要な疾患です。機能検査、静脈サンプリングで局在病変を行い、手術あるいは薬物療法を選択しています。

糖尿病は、長年にわたり地域の基幹病院であることもあり、月約1,200名の外来患者の中で、9％が1型糖尿病と割合が高く、外来症例の50％がインスリン治療、8％がGLP-1製剤の治療



を行っており、入院外来を含めると北九州市内で一番多くインスリン治療を行っている病院となっております。スタッフと協力して、外来での注射、自己血糖測定の手引きと栄養指導に力を注いでおります。最近の取り組みとして、糖尿病診療のclinical inertiaの解決策として血糖推移を把握する必要があると考え、外来でフリースタイルリブレプロを用いて持続血糖測定を行い、治療内容の見直しと、食事運動療法の指導を行っています。

コントロール不良の糖尿病や、ホルモン異常、2次性高血圧が疑われる症例がございましたら、ご紹介をお願いいたします。

患者さん中心の質の高い診療を心掛けていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



左から松村 祐介部長、足立 雅広主任部長、指宿 麻里医師、迎 久美子部長

2019年4月 「がん薬剤師外来」を開設しました



薬剤課 課長
坂本 佳子

医師と患者さんが話し合い、決定されたがん薬物療法は、継続できなければ効果は期待できません。のみ薬は注射薬と違い患者さんで自身が投薬をします。副作用に対する不安から途中で飲むことを止める患者さんがいます。効果を期待し過ぎ、副作用が発現しても抗がん剤を飲み続け入院となった患者さんもあります（写真はキナーゼ阻害薬にて手足症候群が発現し入院となった例）。

「がん薬剤師外来」では、がん薬物療法認定薬剤師が、のみ薬でのがん治療が開始された際の服薬指導や相互作用の確認、薬剤費の説明などを行います。次回来院時には、医師による診察までの待ち時間を利用して、服薬状況や副作用の有無を問診し、問診情報を医師へ伝え、副作用に対する薬物療法の提案などを行います。必要に応じて電話で服薬状況を確認し、患者さんからの電話相談を受けます。薬剤師は有効な治療が継続できるようにサポートし、重篤な副作用を未然に防ぐことで、安全ながん薬物療法の実施に貢献します。

始まったばかりの業務ですが、患者さんからの電話相談や医師への支持療法提案など、患者さんが治療を継続する上で「がん薬剤師外来」の必要性を実感しています。現在は外科の患者さんを中心に介入していますが、今後は介入が必要とされるがん薬物療法を行う患者さんを対象に、業務を拡大していこうと考えています。

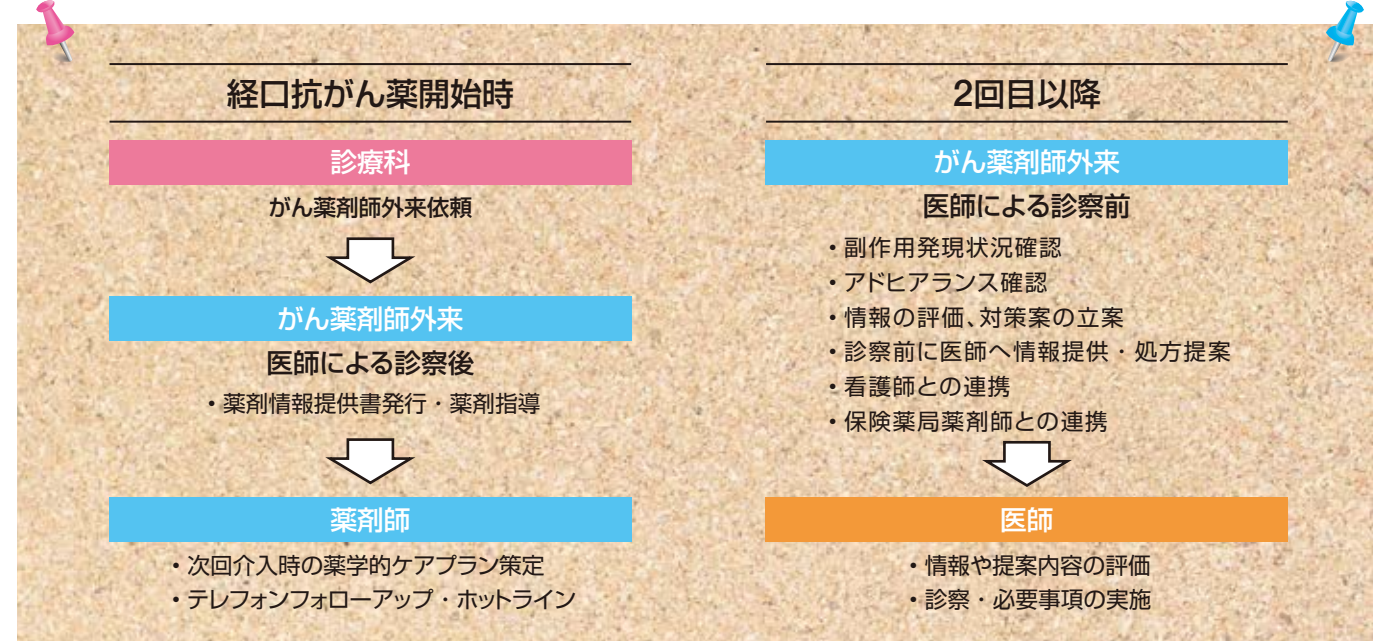
のみ薬でのがん治療だけでなく医療用麻薬の服薬指導や、注射抗がん剤開始前の同意説明の補助も「がん薬剤師外来」で行っています。患者さんの服薬管理だけでなく、医師の負担軽減にも貢献できればと考えています。「がん薬剤師外来」を活用されますようよろしくお願いいたします。



▲経口抗がん薬による手足症候群



▲プライバシーに配慮した個室での薬剤指導（別館2階）



▲がん薬剤師外来実施のプロセス

2019年度 活動報告

TOPICS トピックス

8/4 ㊦ わっしょい百万夏まつり

8月に開催されました「第32回わっしょい百万夏まつり」の百万踊りにまっぴんクの医療センターオリジナルの法被を着て、約80名の職員で参加しました。参加者は、院長を筆頭に医師、看護師、診療支援部技師、事務職員などさまざまな業種が参加しました。来年以降も参加を予定しており、地域に愛される病院を目指して努力していきます。



8/5 ㊦ 院内ミニコンサート

8月5日に院内ミニコンサートを開催しました。

愛子ハイディー・ディランさんにヴァイオリンを演奏していただきました。入院患者さんや外来患者さんなど、医療センターでは、今後とも患者さんに癒しを与えられるようなイベントを実施していきます。



7/22 ㊦ 病院における水害対策について

7月22日に「病院における水害対策」として社会医療法人里仁会興生総合病院リハビリテーション部部長小倉康弘氏をお招きし、「病院における水害対策と被災病院の事例」をテーマに研修を行いました。

具体的な事例を踏まえ、当院の課題や災害時の行動を再確認しました。



5/18 ㊦ 一般系電源の点検作業について

病院の電気設備の法定点検は、年に2回（一般系1回、非常系1回）実施しており、今回は一般系の点検作業を実施しました。当院は、24時間365日稼働し、患者さんの療養環境のための空調や、医療機器に電気を多く消費するため、電力の安定供給が必要不可欠で、電気設備の法定点検は非常に重要です。

患者さんが安心して治療していただけるような環境づくりのため、今後とも緊張感を持って設備維持等に努めてまいります。

8/8 ㊦ なつまつり

4階北・小児病棟で「なつまつり」を開催しました。たこ焼きビンゴやヨーヨー釣りなどを通して入院患者さんに夏を少し味わっていただきました。医療センターでは、なつまつり等を開催して、入院していても患者さんに季節を感じてもらえるように取り組んでまいります。



6/16 ㊦ グリーンパーク・リレーマラソン

第7回42.195kmリレーマラソンINグリーンパークに医療センター6チーム（総勢70名）で出場しました。全員でタスキを繋いでいき、全チーム無事に完走しました。改めて、タスキを繋ぐこと、チームで一つのことに取り組む大変さを感じました。

さらに、昨年に引き続き、ベストドレッサー賞を受賞することができました！



看護の広場

2階外来

患者さんに安心と満足のいく看護を提供します



2階外来 看護師長 田中 順子

外来看護師は病院のイメージを印象づける、いわゆる病院の「顔」ともいえる存在です。「愛顔」「愛語」を大切にしながら日々、心に寄り添った看護を目指しています。

外来における看護師の役割は、療養環境調整、生活指導、メンタルケア、治療選択の意思決定支援が大きな柱となっています。在宅療養を支援するため地域の多職種の方々と連携し情報を活用して在宅生活をイメージしたかわりを行っています。

2階外来の主な診療科は外科、産婦人科、泌尿器科、小児科、麻酔科、小児外科、心療内科で総勢32名の看護師と医療クラークが各科の専門性を踏まえて患者さんの対応を行っています。病棟とは違い私たち外来看護師が患者さん一人ひとりとお話できる機会は限られています。私たち外来スタッフは患者さんとそのご家族が治療に納得し、安心して生活できるように医療連携室・がん相談支援センター・薬剤師・認定看護師ら多職種で問題を共有し、不安を持って受診される患者さんやご家族、そして地域の皆さまの期待に応えることができる看護を目指したいと考えています。これから個々の感性を磨き、より良い外来看護を提供していきたいと考えます。

最後に、地域医療支援病院として地域住民に対し、公共的使命を自覚するという病院の基本理念に則って地域の医療機関ともに責務を果たすべく、日々、質の高い医療の提供に努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



外科スタッフ



産婦人科、泌尿器科スタッフ



麻酔科、小児科、小児外科スタッフ



外来カウンター



登録医のご紹介

Clinic
1

一枝クリニック

INFORMATION

所在地：戸畑区一枝2丁目3番26号 院長：江島 正義
TEL：093-616-2812 診療科目：耳鼻咽喉科、小児科
URL：https://ichieda-clinic.com



院長
江島 正義(左)
副院長
江島 多幸(右)



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	×	○	○	×
14:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

※土曜日は12:30まで



アピールポイント

耳鼻咽喉科専門医と小児科専門医が2人で診療を行っているクリニックです。当院では舌下免疫療法や夜尿症の専門外来も行っており、赤ちゃんからご年配の方まで安心してかかるクリニックを目指し、スタッフ一同頑張っています。

市立医療センターへの一言

院長、副院長ともに医療センターでの勤務経験があり、その際には医療センターの医師やスタッフの方々に大変お世話になりました。安心して患者さんをご紹介できる医療機関であり、大変心強く思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Clinic
2

ごしま耳鼻咽喉科医院

INFORMATION

所在地：八幡東区高見2丁目8番3号 院長：五島 桂子
TEL：093-652-2464 診療科目：耳鼻咽喉科
FAX：093-652-5322



院長
五島 桂子



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
15:00~18:30	○	○	×	○	○	×	×



アピールポイント

昭和の時代から、八幡東区で父の代から開業しています。現在は2代目の私と稲木匠子医師の2人のおばちゃん先生で楽しく診療しています。患者さんに言わせると男前の二人だそうです。地域のかかりつけ医としてもう少し頑張ろうと思っております。

市立医療センターへの一言

患者さんにも私たちにも安心できる病院であることはもちろんですが、困った症例も気持ちよく診ていただきご教示感謝しております。特に耳鼻咽喉科の先生方にはご迷惑をお掛けしています。

平素より、当院の地域医療連携推進につきまして、ご理解とご協力をいただき心から感謝いたします。
2019年7月16日(火)に開催いたしました「北九州市立医療センター 医療連携の会」におきましては多くの医療機関の皆さまにご参加いただき、無事盛会のうちに終了することができました。心よりお礼申し上げます。

今年度も2部構成で開催し、一部においては、循環器内科、産婦人科の主任部長より各診療科の取り組みについてお話をさせていただきました。

また医療連携の取り組みとして地域医療連携推進担当部長より2018年度の実績報告とともに逆紹介率向上への取り組み、急患者の受入れ体制、当院ホームページ内の登録医のご紹介ページのご紹介、「連携ネット北九州」での耳鼻科の初診診療予約の開始などをお話させていただきました。連携ネット北九州については、懇親会会場でデモンストレーションも実施いたしました。加えいただきご利用も増加しております。

ご興味のある先生がおられましたら、医療連携室までご連絡いただければ、担当者がご説明に伺います。お気軽にお問い合わせください。

今後も地域の医療機関の皆さまのご期待に応えるべくより一層の努力をまいりますのでご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里



1階 医療連携室



2階 医療連携室



医療連携室スタッフ

【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>
E-mail: byou-iryuu-renkei@kitakyu-cho.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。

医療連携室だより

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員から安心して頼りにされるよう取り組んでまいります。